

令和6年度第1回調布市防災会議 会議録

開催日時	令和6年8月27日（火）午後3時～午後4時
開催場所	文化会館たづくり西館2階 予防接種室
出席者	山野委員，田原委員，野澤（光）委員，渡邊委員，熊澤委員，川上委員， 矢田委員，宇賀神委員，金丸委員，小泉委員，石橋委員，村田委員，関森委員， 森田委員，中島委員， 今井委員，本田委員，大和田委員，小柳委員，野澤（薫）委員，小島委員， 徳永委員，松井委員，八角委員，田波委員，渡辺委員，阿部委員，有松委員 以上28人
欠席者	5人（代理出席2人含む）
傍聴者	3人
次第	1 開 会 2 あいさつ 3 議 題 （1）調布市地域防災計画の修正概要について （2）質疑 4 その他 （1）南海トラフ地震臨時情報，台風第7号対応について （2）令和6年度総合防災訓練の実施について （3）トイレカーの導入について 5 閉 会
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1 令和6年度調布市防災会議委員名簿 ・資料2 調布市防災会議条例 ・資料3 調布市地域防災計画の修正概要 ・資料4 調布市避難行動要支援者避難支援プランの改定について ・資料5 南海トラフ地震臨時情報 ・資料6 台風第7号対応について ・資料7 令和6年度総合防災訓練の実施について ・資料8 トイレカーチラシ
議事の要旨	<p>1 開 会</p> <p>2 あいさつ 調布市長（会長）欠席のため，今井副市長（会長代理）から挨拶</p> <p>3 議題 （1）調布市地域防災計画の修正概要について <ul style="list-style-type: none"> ・事務局から資料3を用いて調布市地域防災計画の修正概要について説明 ・補足説明として八角委員より，資料4を用いて調布市避難行動要支援者避 </p>

難支援プランの改定について説明

(2) 質疑

○川上委員（東日本電信電話株式会社武蔵野支店長）

今回の計画の見直しに当たって1つ質問させていただければと思います。防災DXの観点を分野横断的な視点にお取込みいただいて、防災対策の有効性を高めていく、そして本日のご説明の中でも、また、事前にお送りいただいたメディアの中にも、防災DXと思われる記載がございました。このような取組を具体的にどのように進めていくおつもりか、もしお考えがあればお聞かせいただければと思います。質問させていただきました。

○有松委員（危機管理担当部長兼危機管理監）

災害時の防災DXに関してましては、東京都、それから市区町村と連携していく上では、災害時の情報システムであるDISを使って情報共有することとなっております。また、調布市での連携につきましては、自治体の持っておりますネットワークシステムを活用すること、それからその他伝達システムを使っての情報共有ということとなります。特に、基礎自治体である我々につきましては、避難所の運営が主体となりますので、避難所との連携は、避難所の混雑状況等確認できるVACAN（バカン）というシステムを使っています。また、そのシステムを使って市民の皆様に案内するようにしております。

能登半島地震では、停電、地震等による基地局の破損でネットワークが使えなかったことが課題となっているため、衛星でのネットワークシステムにもこれから取り組んでいきたいと考えています。

○会長代理

それでは、ご質問はこの場ではないということで議題はここで終了したいと思います。地域防災計画の修正については9月5日から1ヶ月間、パブリックコメントを実施いたします。委員の皆様におかれましては、パブリックコメント期間中の10月4日までご意見ご質問等ございましたら事務局にお寄せいただければと思います。それらを踏まえて11月の第2回防災会議に反映させていくということで考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

4 その他

(1) 南海トラフ地震臨時情報、台風第7号対応について

- ・事務局から資料5を用いて南海トラフ地震臨時情報の調布市における主な対応を説明
- ・事務局から資料6を用いて令和6年台風第7号の対応状況等について説明

(2) 令和6年度総合防災訓練の実施について

- ・事務局から資料7を用いて令和6年度調布市総合防災訓練・防災フェアの実施概要(案)を説明

(3) トイレカーの導入について

- ・事務局から資料8を用いてクラウドファンディングご支援のお願いと、トイレカーを導入した際の活用方法を説明

4 その他についてご意見、ご質問等はなし

5 閉会

○会長代理

本日予定しておりました議事はこれで終了いたします。ご案内しました地域防災計画の修正が今日の本題でございますが、多岐に渡る説明で大変恐縮でございました。持ち帰りいただいた資料を改めてご確認いただき、ご意見等ございましたら、パブリックコメント期間中にお寄せいただければと思っております。

その中にフェーズフリーという考え方のところがありましたけれども、日常平常時に使っている施設や提供するサービスや体制が緊急時にも役立つようにということでございますが、一番のフェーズフリーは参加する皆様との連携の関係を日常から作ることと認識しております。

ぜひ、計画作りを通じて意見交換をさせていただければと存じておりますのでよろしくお願いいたします。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。